

平成30年度 環境教育学習 ー身近な自然と生き物ー

ECOKA委員会

概要:鹿ノ台周辺緑地は、ECOKA委員会による里山の整備が進み、鹿ノ台校区の良好な自然環境教育の野外活動の場として、地域住民にも広く認知されるようになってきた。今年も森の観察や、間伐材を活用した椎茸の採取を小学校5年生対象に体験学習することが出来た。地球環境から日常生活まで、今起きている環境変化を植物と動物の深い関係性から説明した。子供たちが感覚的に森林(みどり)の大切さを理解し、温暖化抑制への関心を持ったことは幸いである。加えて、植菌体験や椎茸狩りを通して、身近な自然とのつながり(関係性)を5感で学習することが出来た。以下、写真にまとめて報告書とする。

参加人数:鹿ノ台小学校5年生99名+教職7名

ECOKA7名

実施日:平成30年11月15日

実施団体:ECOKA委員会

